

大和高田市立病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	泌尿生殖器系および後腹膜腫瘍を対象とした手術療法・薬物療法・放射線療法・無治療監視療法の治療成績および合併症の包括的比較解析 (No. R3-5)
当院の研究責任者 (所属)	仲川嘉紀 (泌尿器科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	(主任研究者) : 三宅牧人 (奈良県立医科大学 泌尿器科 助教) (分担研究者) : 藤本清秀 (奈良県立医科大学 泌尿器科 教授) 鳥本一匡 (奈良県立医科大学 泌尿器科 教授) 中井 靖 (奈良県立医科大学 泌尿器科 学内講師) 堀 俊太 (奈良県立医科大学 泌尿器科 助教) (共同研究参加施設) : 奈良県総合医療センター、奈良県西和医療センター、市立奈良病院、大和高田市立病院、済生会中和病院、済生会奈良病院、大和郡山病院、辰巳佳弘、高井病院、近畿大学奈良病院、平尾病院、奈良友誼会病院、白庭病院、星ヶ丘医療センター、大阪暁明館病院、大阪回生病院、多根総合病院、岡波総合病院、松阪中央病院
本研究の目的	私達は悪性腫瘍や良性腫瘍に対するより良い治療法を調べるための臨床試験を行っています。泌尿器科で扱う腫瘍はさまざまあり、その疾患や進行度によって、手術療法・薬物療法・放射線療法・無治療監視療法などを組合しながら治療していきます。ただし、治療にはお体への負担や合併症の危険性をさけてとおることができません。そこで私達はこれまでに治療を受けてこられた患者さんを対象として、過去の診療情報をしらべることによって、その患者さんに応じた適切な治療法を見つける医療 (プレジジョンメディスン) の確立を目指しています。そのためには、手術療法・薬物療法・放射線療法・無治療監視療法などの治療成績を比較することが必須となります。本研究では、上記の対象にあてはまる患者さんの臨床情報をカルテから調査を予定しています。本研究は、既存資料 (臨床病理学的背景、予後などの診療情報) を用いる観察研究であり、介入はなく、特に患者さんに不利益や健康被害などは発生せず、リスク/ベネフィットバランスは高いと考えています。また個人情報の取り扱いには下記別項目に示す如く十分に注意して行われます。
調査データ 該当期間	・症例登録期間 : 実施承認後 ~ 西暦 2025 年 12 月 31 日 ・解析期間 : 実施承認後 ~ 西暦 2026 年 1 月 31 日
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者さま 1980 年 1 月 1 日~2020 年 12 月 31 日の間に以下の疾患で治療や検査を受けた患者さま 1) 膀胱癌および膀胱良性腫瘍 2) 腎盂尿管癌および腎盂尿管良性腫瘍 3) 尿道癌または尿道良性腫瘍 4) 前立腺癌または前立腺良性腫瘍 5) 腎細胞癌または腎良性腫瘍 6) 精巣悪性腫瘍および精巣良性腫瘍 7) 後腹膜悪性腫瘍および後腹膜良性腫瘍 8) 副腎悪性腫瘍および副腎良性腫瘍

	<p>●利用する情報</p> <p>電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用する。</p> <p>年齢・性別・身長・体重・既往歴・合併症・嗜好歴・疾患名・手術名・治療内容・診療経過・身体所見・血液検査結果・手術中動画・CT/MRI/超音波検査/一般レントゲン画像ならびに病理診断検査結果</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	多施設共同研究であり、紙媒体（症例報告書）・USBメモリースティックまたはCD・DVDなどの電子媒体にて研究責任者へデータを提供します。
個人情報の取り扱い	対象となる組織標本は個人名を消去し、記号をつけて取り扱われます。従って、研究の際に患者さんの名前や身元が分かることはありませんが、その検体が誰のものであるかは記号から確認できるようになっています。研究の結果は新しい治療方法の開発の目的で学会や論文等に報告されますが、臨床的な情報や研究の結果はすべて匿名で扱われるため、患者さんのプライバシーが損なわれることはありません。
本研究の資金源 (利益相反)	この研究は奈良県立医科大学泌尿器科学教室がこれまでに取得した科研費等の公的機関からの資金、奨学寄附金、講座研究費などを用いて行われます。すべての研究責任者および分担者はいかなる組織・団体とも本研究において利益相反はありません。
お問い合わせ先	電話：0745-53-2901 担当者：大和高田市立病院 泌尿器科 仲川嘉紀
備考	